

実施状況等調査報告書

調査団体	特定非営利活動法人 留学生と語り合う会（RKK）
事業名	「留学生 50 人の声」
調査日時	1. イベント見学：令和 6 年 12 月 8 日（日） 2. ヒアリング：令和 7 年 1 月 20 日（月）
実施形態	1. イベント見学：対面 2. ヒアリング：オンライン（ZOOM）
報告事項 1. イベント見学について（14 時 00 分～16 時 00 分） 1）イベント名：「留学生 50 人の声」 2）参加対象：外国人留学生、日本人学生、地域住民（外国人除く。地域のスタッフ含む）、団体スタッフ等 3）参加者数：約 16 名（うち、外国人留学生 3 名、地域住民（留学生以外の外国人） 2 名、地域住民（外国人除く。地域のスタッフ含む） 4 名、団体スタッフ 7 名） 4）概要： 本イベントは、「留学生 50 人の声」として、かながわ県民活動支援センター内にある会議室において「留学生 50 人の声」交流座談会が実施された。本イベントは、「日本語の習得について」「日本での生活について」「相互理解（交流、文化等）について」「就職について」の 4 つのテーマ構成になっている。特定非営利活動法人留学生と語り合う会（RKK）は、2005 年に創立 5 周年記念事業として、公益財団法人平和中島財団の助成を受け、「留学生 70 人の声」の冊子を発行した。本年は創立 25 周年であり、留学生 50 人からの声をもらい冊子が発行された。理事長より、留学生からの声は冊子を読めば分かるが、実際に対面で留学生と地域住民の双方向からフランクでオープンな交流をする場を設けたいということで開催したと説明があった。 司会者より、留学生は「出身国、氏名」、日本人は「氏名、一言（ボランティア経歴等）」を含めて自己紹介をするよう指示があった。また、懇談の場（語り合う場）では、留学生、地域住民問わずランダムに発言し、気軽に質問するよう促していた。 最後に司会者より、既卒の留学生に「今の会社を選んだ理由」について尋ねると、「キャリアアップができるかどうか」「自分が成長できるかどうか」等で判断したという回答であった。留学生からは、言語を勉強することは、文化を知ることであり、言語は文化から生まれるという声も聞かれ、地域住民からは今後、留学生がキャリアアップをするためにどのようなサポートができるかを考えていくことも重要だと話していた。 2. 実施状況等調査（ヒアリング）について（10 時 00 分～10 時 30 分） ・概要： 今年度の事業実施報告、予算の執行状況について確認した。参加者を募るため、『RKK 創立 25 周年記念誌「留学生 50 人の声」』に寄稿された外国人留学生の中から日本語が可能な 9 名に声がけし、うち 5 名が参加することとなり、その際、参加者の国籍が偏らないように気を付けた旨、説明を受けた。その他、本助成事業に係るヒアリングを行い、要望等を伺った。	